

身につく読書



最高の「商い」をデザインする方法 松本 大地著

日本最大級のショッピングセンターから商店街再生までを手掛ける商業プロデューサーが、にぎわう街と新しいコミュニティのつくり方を提示した1冊。特に米国オレゴン州のポートランドでのユニークで合理的な事例を数多く紹介し、閉塞感の漂う日本社会を打破するヒントを探っている。

これからのビジネスや衣食住を考える際のキーワードとして、著者はサステナビリティ(持続可能性)を挙げ、その考えに基づき新しいライフスタイルを創造することが重要だと指摘する。ポートランドはクルマ社会の米国にあって「脱クルマ」を実践しているという。そこでは自社と従業員、仕入れ先、そして顧客を豊かにするビジネスモデルが花開いている。そこで指し示すサステイ

新たな街づくりを提案

ナビリティとは自然環境やエネルギー問題だけでなく、「人と経済と環境の共存共栄」という考え方だ。

地産地消に取り組むスーパーマーケットやレストラン、古い住宅と商店が融合する街路、住民主体の行政組織などに現れている。

また、本書ではポートランドだけでなく、神奈川県葉山町や静岡県長泉町など日本国内で生まれつつある新たな息吹を紹介。人と商いが連携したまちづくりを提案している。

(エクスナレッジ、1575円)

■『ケタ違いに売る人の57の流儀』森令子著 本書では著者のこれまでの豊富な経験から販売に関する極意を分かりやすく紹介する。たとえば「みんながやっている『NG』な販売方法」などは参考にありそうだ。

(PHP研究所、1365円)

■『読むだけでお金に愛される22の言葉』本田健著 先行きが見えにくい時代だからこそ、お金に関する不安や悩みを抱える人が多いようだ。著者はお金について考えるヒントを紹介する。

(フォレスト出版、1260円)

2012年(平成24年)6月26日(火曜日)

商業施設新刊

新刊案内

「最高の「商い」をデザインする方法」

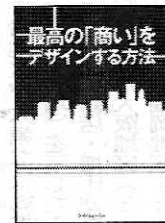
松本大地著

本紙のコラム「商いの新しいものさし」を好評連載中の、商い創造研究所(株)代表取締役松本大地氏が執筆した「最高の「商い」をデザインする方法」が、このほど(株)エクスナレッジより発刊された。

松本氏は、イオンレイクタウンなどの大型ショッピングセンターから商店街再生まで、数多くの商業プロデューサーの実績

があり、国内外の商業や街づくりの現場を数多く歩いてきた。

特に、昨今は米国オレゴン州ポートランドのユニークな街づくりや、そこに広がる商業施設や店舗に感銘を受けており、



本紙コラムでもたびたび紹介されていることは読者諸君もご存知のことだろう。

同書は、ポートランドで進められている、サステナブルな街づくり・商業施設づくりの事例を数

多く紹介している。また、ポートランドの知見をもとに国内の「神奈川県・葉山町」「フランマルシェ」などの街づくりや、「ラックビーエロ」「杉山ブルーツ」といったフード企業の紹介、脱同質化や賑わいづくりのための様々な具体的な提案が、氏の人柄を示すように熱く語りかけるようにわかりやすくまとめられている。

【最高の「商い」をデザインする方法】▽発行所  
 (株)エクスナレッジ(東京都港区六本木7-2-26) <http://www.xknowledge.co.jp/> ▽定価 1500円(税別)

2012年(平成24年)6月29日

新刊



最高の「商い」をデザインする方法

松本大地 著

〈住みたい街全米No.1ポートランドに学ぶ〉商店街再生などを手掛ける商業プロデューサーの著者が大きな影響を受けたオレゴン州・ポートランドを徹底取材。若い世代の移住が増え続ける理由とそのユニークで合理的な温かみのある取り組み、次世代を担う持続可能な「商い」と街づくりを分析。また、日本ならではの好事例を人、街、企業などから取り上げ、人と社会を豊かにする商いの姿を示唆。あらゆる業種のヒントとなる書。(エクスナレッジ)

ツジ 03・3403・1  
321/1500円)